

要 望 書

成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会

平成 29 年 8 月 4 日

要 望 書

本協議会の活動につきましては、平素から格別の御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

成田線沿線地域は、首都東京から至近な距離にあることから、東京への通勤・通学圏として発展してきた地域であり、成田線の輸送力強化及び利便性向上が沿線自治体のまちづくりの最重要課題となっています。

こうしたことから、成田市、柏市、我孫子市、印西市、栄町、利根町、河内町を構成員とする本協議会では、成田線の輸送力強化と利便性向上を促進するとともに、沿線内外の利用促進を図り、成田線の活性化を推進することを目的として活動しています。

この度、7月7日にプレスリリースされました、10月14日に予定されているダイヤ改正では、朝の通勤・通学時間帯の上野東京ラインに乗り入れる電車が大幅に増加されました。また、夕方から夜の帰宅時間帯では、上野東京ラインから常磐線へ乗り入れる電車が時間ごとに1本増加したほか、その全てを成田線への直通電車としていただきました。特段のご配慮をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

平成27年3月の上野東京ラインの開業以来、乗り換えの解消による所要時間の短縮など、成田線沿線の通勤・通学者の利便性が向上し、平成27年度の乗客人員は成田線の多くの駅で微増となりました。このことから、10月のダイヤ改正における帰宅時間帯の成田線の利便性向上により、成田線各駅の乗客人員がさらに増加することを期待しています。

しかしながら、朝の通勤・通学時間帯では、常磐線の上野東京ライン乗り入れ電車の本数が倍増したものの、成田線の増発はなく、成田線利用者の常磐線の上野東京ライン乗り入れ電車の利用機会は増えていません。

朝の通勤・通学時間帯の常磐線の上野東京ライン乗り入れ本数倍増に伴い、常磐線へ接続する成田線のさらなる利便性の向上が次期ダイヤ改正において期待されているところです。

この機会に、次の項目について是非とも実現いただくよう要望いたします。

1. 成田線の増発について

この度のダイヤ改正で、朝の通勤・通学時間帯に常磐線から上野東京ラインへ乗り入れる電車の本数が倍増しましたが、成田線利用者の上野東京ライン乗り入れ電車の利用機会は増えていません。成田線から常磐線を利用して東京・品川方面へ通勤・通学する方が、上野東京ライン乗り入れ電車を利用する機会が増えれば、大幅に利便性が向上します。また、これにより、成田線各駅の乗客人員がさらに増加することが期待できることから、特に通勤・通学時間帯での我孫子ー成田間を走る電車の増発について、次期ダイヤ改正での実現を要望いたします。

2. 成田空港へのアクセス向上について

(1) 成田空港への快速列車の運行

成田空港では、平成22年10月の発着容量30万回の地元との合意を受けて、LCCを含めた国際線・国内線の新規就航や増便をはじめ、LCC専用ターミナルビルが整備されるなど新たな動きが相次いでいます。

こうした中、成田空港へのアクセスについては、成田エクスプレスや成田スカイアクセスなどの整備により東京方面からの利便性は飛躍的に向上しているものの、人口集積地域である松戸市、柏市、我孫子市が位置する千葉県北西部をはじめ、茨城県、埼玉県など北関東地域からのアクセスは一向に改善されてはいません。

今後、成田空港の30万回化に向けた施設整備などによる発着回数の増加に伴い、北関東地域からの旅客需要も大きく増加することが見込まれています。

つきましては、北関東地域からの空港アクセスとして、武蔵野線や常磐線から成田線を経由して成田空港に向かう快速直通電車の運行を要望いたします。また、成田線の列車についても、成田空港への直通運行ができるよう要望いたします。

(2) 成田新高速鉄道（成田スカイアクセス）との交差部への新駅の設置

成田新高速鉄道（成田スカイアクセス）では、成田線の交差部に新駅「成田湯川駅」が設置されました。この場所にJR東日本の駅が設置されれば乗

り換えが可能となり、成田線から空港への乗り継ぎ改善が図られ、成田線を利用した空港利用者の増加が考えられます。また、電車のすれ違い施設にもなり、1時間当たりの運行本数も増やすことが可能と考えられます。

つきましては、こうした構造となる新駅の設置を要望いたします。

3. 千葉方面へのアクセス向上について

成田線から成田駅経由で千葉方面への通勤・通学者の利便性向上のため、千葉方面への直通運行を要望いたします。

4. 成田線各駅の施設整備について

◇ 各駅共通要望事項

- ・ 駅前広場を利用した地域の魅力向上への支援を要望します。
- ・ 非常時に対応するため、駅係員呼出インターホン等の整備を要望いたします。また、AEDについては、設置済の駅も増えていますが、未設置の駅への設置を要望いたします。

◇ 東我孫子駅

- ・ 駅構内に向かう経路（踏切）で、高齢者や小さな子供連れの利用者が使いやすくなるよう段差の解消を行い、利便性の向上を図るとともに、駅利用者以外の通行による事故の防止策の実施を要望いたします。また、ホームへの上屋の設置を要望いたします。

◇ 新木駅、布佐駅、木下駅

- ・ 上り始発列車の運行時（新木駅 5:15、布佐駅 5:11、木下駅 5:08）に券売機が稼動していません。利用者の利便性向上を図るため始発電車運行時の券売機の稼動を要望いたします。

◇ 安食駅

- ・ 駅舎及び付帯施設については、塗装が落ちている箇所が見受けられ、駅利用者からも改善を求める意見が寄せられています。駅のイメージアップを図るためにも、駅舎及び付帯施設の塗り替えを要望いたします。

す。

- ・利用者の利便性を向上させるため、下り線ホームへの上屋の設置を要望いたします。
- ・南口駅前広場改修工事が円滑に進むよう要望いたします。
- ・南北自由通路の軌道上未塗装部分について、塗装工事を早期に着手できるよう要望いたします。

◇ 下総松崎駅

- ・房総のむら、坂田ヶ池総合公園への最寄り駅ですが、木造の古い駅舎のままであるので、利用者の利便性や快適性の向上と高齢者や障害者等が安心して利用できるよう、バリアフリー化した駅舎への改築を要望いたします。

5. 地震や大雪等の自然災害発生時における対策について

(1) 情報提供の円滑化

電車運行の異常を知らせる情報ディスプレイについては、主要駅に設置をいただきましたが、成田線各駅への情報提供はまだまだ不十分であると考えます。自然災害等の異常発生時の情報ディスプレイの設置を含め、迅速かつ正確な情報提供をするための広報体制を早急に整備いただくよう要望いたします。

また、列車位置情報システム「NETRAINS+ (ネットレインプラス)」について、今後、さらに多くの利用者に知っていただくため、周知に努めていただくよう要望いたします。

(2) 輸送障害等に関する対策の推進

台風や大雪などの自然災害時における運転見合わせや遅延などが頻繁に発生しています。

そのため、自然災害時にも対応できる軌道敷等の基盤整備のさらなる推進について要望いたします。

(3) 耐震化の推進

今後、予測されている大地震に備え、橋脚等の耐震化を要望いたします。

平成 29 年 8 月 4 日

東日本旅客鉄道株式会社
執行役員
千葉支社長 西 田 直 人 様

成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会
会 長 我孫子市長 星 野 順一郎

成田線(我孫子～成田間)活性化推進協議会名簿

会 長	我孫子市長	星 野 順一郎
副会長	印西市長	板 倉 正 直
〃	栄町長	岡 田 正 市
監 事	成田市長	小 泉 一 成
〃	利根町長	佐々木 喜 章
委 員	成田市議会議長	伊 藤 竹 夫
〃	柏市長	秋 山 浩 保
〃	柏市議会議長	山 内 弘 一
〃	我孫子市議会議長	坂 卷 宗 男
〃	印西市議会議長	藤 代 武 雄
〃	栄町議会議長	大 野 博
〃	利根町議会議長	船 川 京 子
〃	河内町長	雑 賀 正 光
〃	河内町議会議長	野 澤 良 治